

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年4月7日（火）

2 確認箇所

5／6号機サブドレン設備（5／6号機建屋周辺）

3 確認項目

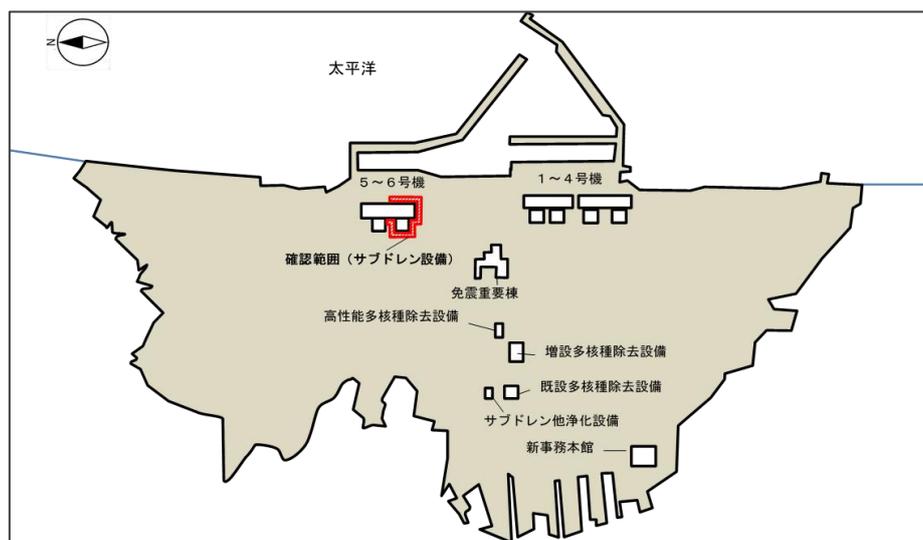
5／6号機サブドレン設備の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災以降、5／6号機建屋周辺のサブドレン設備については稼働を停止していることから、建屋周辺の地下水位が高い状況が継続している。このため、5／6号機建屋地下には常に地下水が流入しており、現在は、5／6号機滞留水処理設備で浄化処理を行った後に構内に散水している。しかし、電源盤等が設置されている電気品室が浸水するリスク等があるため、現在、サブドレン設備の復旧が計画されていることから現況を確認した。

なお、5／6号機建屋周辺には計34基のサブドレンピットが設置されており、本日（4月7日）は主に5号機建屋周辺のサブドレンピット（計17基）を確認した。

- ・確認した範囲において、サブドレン設備の外観に異常は見られなかった。（写真1）
- ・5号機建屋周辺の4基のサブドレンピットに関しては、福島第一原発事故で飛散した放射性物質の濃度が他のピットに比べて高いことから、サブドレンピットがコンクリートで埋め立てられていた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
サブドレン設備の一例①
(5号機廃棄物処理建屋北西側)



(写真1-2)
サブドレン設備の一例②
(5号機廃棄物処理建屋北側)



(写真2)
埋め立てられたサブドレンピットの
一例 (5号機原子炉建屋南西側)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。